【Ｒ１８】会話形式ノベル

『夏、股間がかゆくなる男子の為の、皮膚科クリニックの出張診療』

～診察で、ち□こを勃起させる男子たち～

悪い女医、悪いナース

作：七条右京

【主な登場人物】

・高神若菜（たかがみ わかな）：女医

・宇田萌衣（うだ めい）：ナース

・高田晴人（たかだ はると）：男子生徒１

・佐藤智輝（さとう ともき）：男子生徒２

・水戸雲海（みと うんかい）：男子生徒３

夏は股間がかゆくなる男子たち。

そんな男子たちの為に、夏に数回程、近所の皮膚科クリニックに出張診療をお願いしている。

今日も美人の女医さんと、可愛いナースがやって来る。

ただ、この女医とナース、年下の男のコが大好きで、自分好みの男のコには、全裸になって貰い、全身チェックまでしちゃう、悪い女医と悪いナースなんです。

☺

○皮膚科クリニックの中

宇田萌衣（ナース）：

「先生、そろそろ学校へ行く時間ですね」

「好みの男のコ、いるといいですね」

高神若菜（女医）：

「萌衣ちゃん、随分と気合が入ってるわね」

「その白衣、いつも着てるのと違うじゃないのよ」

「凄く可愛い白衣ね」

萌衣：

「この白衣ですか？」

「学校に行く時の専用に買ったんですよ」

「どうせなら、可愛いと思われたくて」

「先生だって、今日のスカート、ちょっと短かすぎません？」

「パンツが見えちゃいそうですよ」

若菜：

「あら、ちょっと短すぎたかしら？」

「このくらいの方が男子たち、喜ぶでしょう？」

萌衣：

「先生、今日もいっぱい、おちんちんを見て、あれして、楽しみましょうね」

☺

○３年２組その日の朝のホームルーム

担任の女教師：

「夏になると、股間がかゆくなる男子が多くなるのよね」

「そんな男子の為に」

「今日は、近所の皮膚科クリニックから出張診療をして貰う事になりました」

「保健室で、１０時から１１時３０分、午後は１３時３０分から１５時までよ」

「噂では、美人の女医さんと、可愛い看護師さんが来るみたいよ」

「股間がかゆい男子は、ぜひ診て貰いなさい」

「はい、これで朝のホームルームは終わり」

☺

高田晴人（男子生徒）：

「ちょうど良かった」

「かゆくてしょうがないと思ってたところだったんだ」

晴人の隣の女子生徒：

「ねぇ高田君、そんなにかゆいの？」

「ちょっと見せてよ」

晴人：

「なにバカな事、言ってるんだよ」

「どうして、ただの女子高生に見せなきゃなら

ないんだよ」

晴人の隣の女子生徒：

「ただの女子高生で悪かったわね」

「いいじゃない、減るもんじゃないし」

晴人：

「いやだ、絶対にお前には見せない」

晴人の隣の女子生徒：

「ねぇ、診て貰いに行くの？」

晴人：

「行ってみようかと思ってる」

晴人の隣の女子生徒：

「女医さんなんだってね」

「診察って、おちんちん、見せるの？」

晴人：

「よく分かんないけど、見せなきゃ駄目かもな」

晴人の隣の女子生徒：

「ふ～ん、女医さんの前で、おちんちん見せるんだ」

「恥ずかしいでしょうね」

晴人：

「恥ずかしいけど、しょうがないよ」

晴人の隣の女子生徒：

「後でどんな診察だったか、教えてよね」

「気になるから」

「それじゃぁ、がんばってね」

☺

○その日の保健室

女医の若菜とナースの萌衣、準備を終えて、男子生徒が来るのを待っている。

そこへ早速、男子生徒の晴人がやって来た。

晴人：

「あのう」

萌衣（ナース）・心の声：

『やだ～、凄いイケメン』